

手足口病の流行状況について（警報レベル超過）

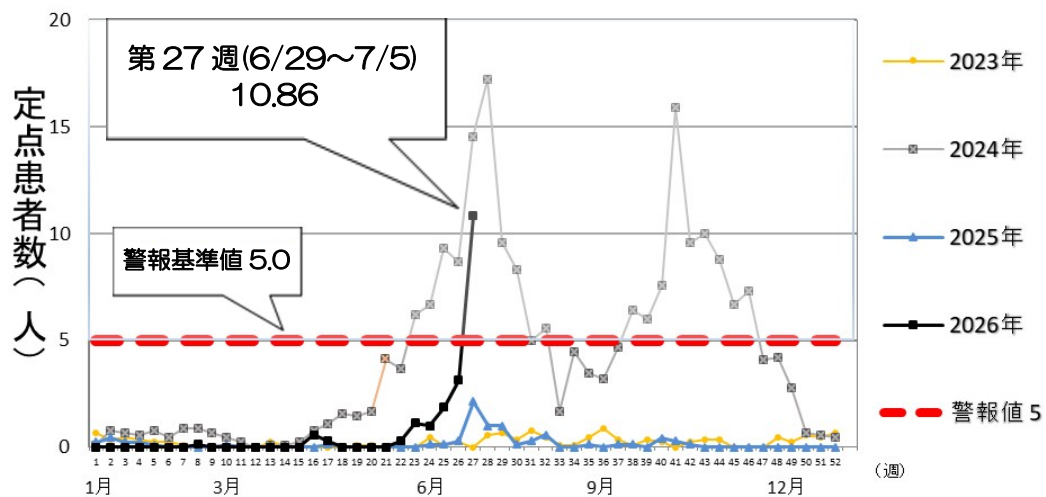
～定点報告数が 10.86 人に急増、乳幼児を中心に流行が拡大しています～

市内における手足口病の定点あたり報告数は、第 26 週（6/22～6/28）の 3.14 人から第 27 週（6/29～7/5）は 10.86 人へと大幅に増加し、流行警報レベルの開始基準値（5.00 人）を大きく超えて急増しています。年齢別では、6～11 か月、1 歳、2 歳を中心に流行が広がっています。

■今シーズンの状況（定点当たりと各年齢の報告数）

週数			定点当たり		0歳		1～4歳				5～9歳					10～14	15～19
			市内	全国	0～5M	6～11M	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
22週	5月25日	～ 5月31日	0.29	1.41	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23週	6月1日	～ 6月7日	1.14	1.98	-	-	5	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1
24週	6月8日	～ 6月14日	1.00	2.75	-	3	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
25週	6月15日	～ 6月21日	1.86	3.4	-	2	2	6	2	1	-	-	-	-	-	-	-
26週	6月22日	～ 6月28日	3.14	4.61	-	1	10	7	2	1	1	-	-	-	-	-	-
27週	6月29日	～ 7月5日	10.86	7.03	-	10	39	19	5	1	-	2	-	-	-	-	-

■定点あたり報告数の推移（過去3シーズンとの比較）



現時点で重症例の報告は受けていませんが、重症例（無菌性髄膜炎や脳炎の合併が疑われる症例等）がみられた場合は、保健所まで情報提供をお願いします。

なお、原因となるエンテロウイルス属はアルコール消毒が効きにくい特徴があります。排便後やオムツ交換後、食事前の「流水と石鹸による手洗い」を保護者等へご指導いただくとともに、今後のサーベイランスの動向にご留意下さい。